



新ラボプロジェクト インタビュー

安達 彰子

「世界に通じる研究ができるような、最新のラボ作り」

メルマガをご覧の皆様、こんにちは。今回は、当教室の新ラボ立ち上げにあたり多大なご尽力をいただいた安達彰子先生にお話を伺いました！今回の新ラボに対する熱い思いや、安達先生がこれまで研究なさってきたテーマについて教えていただきました。そして、10月からのイギリス留学についても意気込みを語っていただきました。ぜひぜひご覧ください！

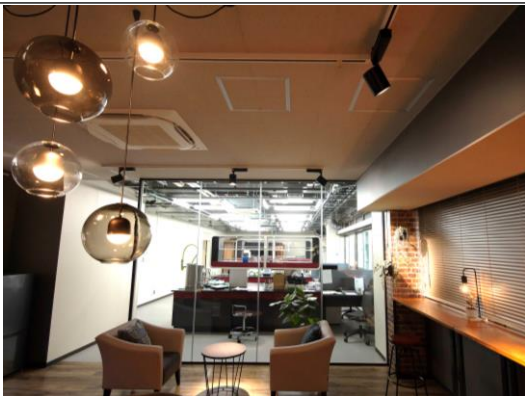
新ラボへの思い

——新ラボ完成には安達先生のご尽力が不可欠であったと存じます。改めて完成した新ラボをご覧になって、いかがですか？

安達先生 ありがとうございます。自画自賛ですが、かなり良いラボができたと思います。今回、尾池先生を中心としたラボメンバーで何度も話し合い、世界に通じる研究ができるような、最新のラボを作ろうということになりました。それにはもちろん私達の研究内容や技術も必要ですがそれを作り出す環境も大きな要素であると考えています。今回のラボは研究室部分については眠くならないような明るい照明を取り付け、収納力とデザイン性を兼ね備えた実験台を選びました。また、培養室内には照射装置を置き、放射線生物学実験の動線を考えた作りになっています。



こだわりの研究室部分内装。尾池先生の念願のデスクペイト、シャキッとするような照明が並ぶ。



交流スペースの風景。専門家のご意見も込められた渾身の改装。隣の研究室が見え、行き来もラクラク。

一方、交流スペースはいったん頭を休めることのできるよう、落ち着いた雰囲気照明にしました。植物や本物のアートを配置し、それらに触れることで新たなインスピレーションが得られることを期待しています。他にも畳の小上がりは唯一和を基調とした空間ですが、多目的に使える場所になっています。色々な制約がある中でかなり理想的なラボが出来上がったと思います。今回ご支援いただいた皆様に感謝申し上げます。

これまでの研究内容

——安達先生のこれまでの研究内容を教えてくださいませんか？

安達先生 私は主に腫瘍内低酸素に関わる研究を行っています。皆さんご存じの通り、悪性腫瘍は腫瘍を作りますが、その中で血流が届かない部分は壊死となります。その一歩手前、酸素も栄養もかなり少なくなくなってしまった部分が腫瘍内低酸素領域です。この領域は化学療法やX線治療に抵抗性のある細胞が存在することが知られています。私の研究では、この低酸素領域に重粒子線を照射することで、酸素の有無に関わらず、殺細胞効果が得られることを明らかにする研究を行っています。

新ラボの様子について

——最近の研究、新ラボになってから進行中の研究についてはいかがでしょう？

安達先生 実際新しいラボが使えるようになってからの研究は1か月程度しかできていませんが、培養細胞を照射するのが格段に楽になったり、物品を見つけやすくなるなど小さいところで「いいラボ」を実感しています。

また、細胞の中の蛍光シグナルを数える作業で眼がつかれた際には、交流スペースのグリーンとおいしいコーヒーに癒されています。



培養室の様子。インキュベーター、照射装置などを含む各設備が整然と並ぶ。



休憩スペースに観葉植物やコーヒーマシンがあるラボなんて素敵！

イギリス留学の意気込み

——安達先生は10月からイギリスに2年間留学されるとのことですが、意気込みを伺ってもよろしいですか？

安達先生 留学は私の夢の一つでもありましたので、留学に行けることになり大変うれしく思っています。

しかし私が放射線科（現放射線治療科）に入局して以降、イギリスに留学された先生はおらず、またお世話になるラボも群馬大学からの受け入れは初めてとなるため、大きな不安もあります。語学力にも不安があります。幸い私の研究テーマと同じ腫瘍内低酸素を扱うラボですので（だから選んだのですが）、さらに知見を深め、後々は群馬大学腫瘍放射線学教室が得意な研究分野の一つに「腫瘍内低酸素」が挙げられるようにしたいと思っています。



入口から交流スペースに入って右手に、和を基調とした小上がりあり。インスピレーションが湧きそう。

学生さん・若手に向けて

最後に、研究を志す若手医師や学生さんに向けてのメッセージがあればお願い致します。

安達先生 医学は日進月歩、これは本当のことです。今は常識となった「胃癌の原因はピロリ」も私の使っていたイヤノートには「胃癌の原因は塩分等」と書かれていました。卒業10年でこの変化です。

この変化を後押ししているのが、臨床基礎に関わらず日々の研究です。普段の診療や、医学の勉強の中の小さな疑問は大きな発見につながるかもしれません。研究をするのに覚悟は必要ありませんよ。ぜひ、基礎でも臨床でも、他の分野でも何かしらの「研究」をやってみてほしいと思います。



新ラボ落成式（2023年9月8日）にて、集合写真。ラボマネージャーの先生方、ご参加いただいた皆様、そしてカメラマンの牛島先生、誠にありがとうございました！



次回のラボ特集もお楽しみに！
～Coming soon...～